

鎌倉市鍋木清方記念美術館 年報

2021年度（令和3年度）

Annual Report 2021.4-2022.3

鎌倉市鍋木清方記念美術館

Kamakura City Kaburaki Kiyokata Memorial Art Museum

目次

目次	1
ごあいさつ	2
I 沿革	3
II 動向	4
III 活動記録	
1. 展覧会	6
2. 教育普及	
1. 講演会	22
2. 展示解説	22
3. 市民講座	23
4. 子ども参加プログラム・一般来館者向けプログラム／ワークショップ	24
5. 市民サポートスタッフ	27
6. 市民サポート客員研究員	27
7. 館外活動	27
8. 映像コーナー	30
9. 図書コーナー	30
3. 収集・保存	
1. 収蔵作品数	31
2. 令和3年度追加収集作品	31
3. 保存修復作品	33
4. 貸出事業	33
4. 調査・研究	
1. 刊行図録	34
2. デジタルアーカイブ	34
3. アンケート概要	35
5. 広報・宣伝	36
6. 共催・連携	36
7. 企画協力	36
IV 資料	
1. 施設概要	37
2. 利用案内	37
3. 組織及び職員名簿	37
4. 入館者数	38
5. 美術館設置条例	38
V 鏑木清方に関する資料	
1. 鏑木清方に関する文献目録	42
2. 鏑木清方に関する展覧会記録	66

ごあいさつ

鎌倉市鏑木清方記念美術館は、近代日本画の巨匠 鏑木清方の業績を広く後世に伝えるため、ご遺族から鎌倉市へ寄贈された旧居と美術作品・資料をもとに平成 10 年 4 月に開館しました。

このたび、令和 3 年(2021 年)4 月から令和 4 年(2022 年)3 月まで、令和 3 年度に実施した事業を中心に、活動の記録をまとめました。

令和元年度末から続く新型コロナウイルス感染症拡大により、神奈川県では緊急事態宣言やまん延防止重点措置の発出があり、美術館もその影響を大きく受けましたが、感染対策を講じ、これまで中止していた事業を一部再開しながら、一年を通して開館しました。

長引く行動制限の中で、芸術文化に触れる機会を待ち望んでいた声を多く頂きました。

展示事業では新たな清方作品の借用・初公開に取り組み、調査研究においては、子ども向けに石版画について解説した冊子の製作・発行を市民サポートスタッフとの協働で行いました。

また、中止したイベントに替わり、動画の制作・配信や収蔵品データベースの充実を図るほか、令和 4 年 3 月の清方没後 50 年に向けた大回顧展と関連出版物への協力を行い、清方と当館の周知に努めてまいりました。

これからも、美術館の役割を果たせるよう、清方芸術と近代日本画の魅力を伝え、貴重な遺産を継承するため一層力を尽くしてまいります。

変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和 5 年 3 月

公益財団法人鎌倉市芸術文化振興財団
鎌倉市鏑木清方記念美術館

I 沿革

平成 2、3 年頃	山田肇氏(鏑木清方の娘婿。当時 明治大学名誉教授、演劇評論家)が、鏑木清方の作品の散逸を防ぎ、その業績を永く後世に伝えるため、清方の終の棲家となった土地、建物及び所有する作品等を活用した記念館の設立等について、横浜美術館等に相談。その意向は鎌倉市に伝えられ、市が受け入れ等の準備を始める。
平成 5 年 10 月	寄贈の意向が鎌倉市に正式に伝えられる。
平成 6 年 3 月	遺族から土地、建物及び作品の一部(26 点)が鎌倉市に寄贈される。
平成 6 年 7 月	「(仮称)郷土記念館・美術館基本構想検討委員会」設置(座長:鎌倉風致保存会会長 上野豊氏)。以降計 6 回の検討会を経て基本構想がまとめられる。
平成 6 年 10 月	「受贈記念 鏑木清方展」を鎌倉国宝館にて開催。
平成 7 年 6 月	(仮称)郷土記念館・美術館基本構想検討委員会報告書提出。 展示設計委託、基本設計、実施設計、地質調査委託、近隣住民調整を実施。
平成 7 年 12 月	鎌倉市議会で補正予算が承認される。(建設工事費・家屋解体工事費・家屋事前調査費)
平成 8 年 2 月	鏑木清方旧宅解体。
平成 8 年 4 月	着工。
平成 9 年 8 月	横浜美術館に保管されていた作品の鎌倉文学館、鎌倉市立図書館への移管を開始。 建物竣工。 財団法人鎌倉市芸術文化振興財団へ施設管理委託。外構・庭園の工事实施。
平成 10 年 3 月	工事竣工
平成 10 年 4 月 17 日	鎌倉市鏑木清方記念美術館開館。 開館記念式典開催。
平成 17 年 9 月	入館者数 20 万人達成。
平成 18 年 4 月	指定管理者制度導入により、財団法人鎌倉市芸術文化振興財団(平成 24 年 4 月公益財団法人に移行)が管理運営を行う。参与を廃し、館長に真室佳武氏を任命。
平成 20 年 1 月	初の出張展示「鏑木清方の芸術展」を、美術館「えき」KYOTO にて実施。
平成 20 年 4 月 24 日	特別展 開館 10 周年記念展「清方の美 —その叙情—」初日に開館「10 周年記念の集い」を開催。
平成 29 年 4 月	入館者 50 万人達成。
平成 30 年 4 月	特別展「開館 20 周年記念 鏑木清方の芸術展」を開催(5 月 23 日まで)。 「開館 20 周年記念式典・内覧会」を実施。(19 日)

Ⅱ 動向

- 令和3年4月15日 特別展「烏合会結成120年記念 若き清方と仲間たち ―浮世絵系画家の新時代―」を開催。(5月19日まで)
- 令和3年4月28日 展示解説動画「《一葉女史の墓》」をオンラインで公開。(5月20日まで)
- 令和3年5月22日 特別展「随筆『こしかたの記』刊行60年記念 清方が愛した江戸、東京。人、暮らし。」を開催。(6月27日まで)
- 令和3年6月8日 美術講演会「江戸の面影と明治の東京」(講師:田中裕二氏)を開催。
- 令和3年6月15日 展示解説動画「《朝夕安居》」をオンラインで公開。(7月1日まで)
- 令和3年6月13日 日本画ワークショップ「岩絵具(緑青)を使って、絵を描こう!」を実施。
- 令和3年7月2日 企画展「夏色美人 ～清方がみた夏げしき～」を開催。(8月22日まで)
「夏休み親子鑑賞」を実施。小・中学生と同伴者を無料とし、子ども向けの解説書を配布。(8月22日まで)
NPOとの連携事業として、子ども向けに美術館での過ごし方を紹介する動画をホールにて上映。(8月22日まで)
- 令和3年7月11日 日本画ワークショップ「日本画材を使って、うちわに絵を描こう!」を実施。
- 令和3年7月28日 NPOとの連携事業「親子で美術館へ行ってみよう!」を実施。
- 令和3年7月29日 30日との計2回、子ども参加プログラム「日本画材の3つの色の砂子を使って、絵を描こう!」を実施。
- 令和3年8月5日 6日との計2回、子ども参加プログラム「浮世絵の多色摺りを体験してみよう!」を実施。
- 令和3年8月12日 展示解説動画「《築地明石町》(下絵)」をオンラインで公開。(8月25日まで)
- 令和3年8月28日 企画展「幽玄の美に誘われて ～泉鏡花と清方の出会い～」を開催。(10月19日まで)
鏑木清方誕生日記念イベントを実施。(9月5日まで)
- 令和3年9月12日 日本画ワークショップ「日本画材を使って、絵巻物を描こう!」を実施。
- 令和3年9月28日 市民講座動画「渡辺省亭と鏑木清方」をオンラインで公開。(10月31日まで)
- 令和3年10月3日 展示解説動画「泉鏡花著『三枚續』木版口絵」をオンラインで公開。(10月21日まで)
- 令和3年10月23日 特別展「秋冬の情趣、清方のことば」を開催。(11月28日まで)
- 令和3年11月9日 美術講演会「鏑木清方《築地明石町》をめぐるあれこれ」(講師:鶴見香織氏)を開催。
- 令和3年11月11日 令和2年度の年報をホームページ上に公開。
- 令和3年11月12日 市民講座動画「鏑木清方の蔵書から」をオンラインで公開。(12月28日まで)
- 令和3年11月20日 日本画ワークショップ「胡粉を使って、日本画を描こう!」を実施。
- 令和3年12月2日 企画展「華やぐ舞台と女性 ～新春 押絵羽子板とともに～」<前期>を開催。(19日まで)
- 令和3年12月12日 日本画ワークショップ「日本画材を使って短冊に絵と詞を描こう!」を実施。
- 令和3年12月22日 企画展「華やぐ舞台と女性 ～新春 押絵羽子板とともに～」<後期>を開催。(1月10日まで)
- 令和4年1月4日 「新春お年玉プレゼント」を実施。(10日まで)
- 令和4年1月5日 山口蓬春美術館との連携事業として「鎌倉 葉山 近代日本画の巨匠の旧居跡めぐり」を実施。(2月27日まで)

- 令和4年1月14日 企画展「うつくしきひと。～清方のまなざし～」を開催。(2月27日まで)
「着物で楽しむ美術館」を実施。(2月27日まで)
- 令和4年1月26日 鎌倉FMでの情報発信開始。(月1回)
- 令和4年3月4日 企画展「春、うらら。～清方の風景とスケッチ～」を開催。(4月10日まで)
- 令和4年3月26日 「春休み親子鑑賞」を実施。小・中学生と同伴者を無料とし、子ども向けの解説書を配布。
(4月3日まで)
27日との計2回、春休み子ども参加プログラム「絵絹に日本画材で描いてみよう！」を実施。
- 令和4年3月31日 収蔵品データベースに追加公開。
市民講座動画「映像で見る鎬木清方」をオンラインで公開。(8月31日まで)